

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和6年 10 月 7 日 付知町まちづくり協議会

司会

こんばんは。市民と市長との対話集会を開始する。付知町まちづくり協議会会長より挨拶をする。

会長

市長に付知まで足を運んでいただき、大変嬉しく思う。付知町では、自らできることを積極的に実施し、住み続けたいまちづくりに取り組んでいる。ミズベリング構想についても継続的に協力を得ながら、地域の活性化を図っている。今年は中学生が関与する事業が立ち上がり、商工会青年部も就職支援イベントを企画している。自動運転の試供運転も開始しており、地域文化や歴史を生かす成功を目指している。伊勢神宮の遷宮に向けて、付知からご神木を送り出す事業も進行中であり、地域全体で誇れる事業にしたい。

市長

こんばんは。付知地区での対話集会は初めてであり、これからも地域を訪れる機会を持つつもりでいる。森の木遊館は多くのお子さんに利用されており、付知地区を発信する場として機能している。皆さんと有意義な時間にしたい。

参加者

付知峡では5月と7～9月の間に大渋滞が発生しており、住民は生活に困っている。昨年からの渋滞対策に関する会合に出席し、複数の対策案が提出されているが、お金のかかる工事は難しい。観光協会は案内人を増やし、看板を設置しているが、駐車場不足が依然として問題である。住民からは不満が寄せられており、渋滞解消への要望を提出した。市が交通渋滞の対策を早急に講じることを求めている。

参加者

市主催の対策会議では大きな進展がなかった。具体的な提案が不足しており、地域の住民への迅速な対応を要求した。

市長

付知のオーバーツーリズムには対処すべきであると考えている。今年観光客が増えていることを理解しているが、その対応策が必要である。対策としてライブカメラの設置を進めている。駐車料金の導入も検討されており、整備資金に充てることが重要である。

参加者

スマホの普及により、観光客が増加しており、情報の拡散によって付知峡への訪問者が増えているのは喜ばしいが、対応が追いついていないと感じる。

参加者

教育施設適正配置計画について、経過報告と市の方針について伺いたい。付知北小と南小の統合について

ての地域への説明が不足している。幼児教育施設の統合についても具体的な進捗が見られず、不安が広がっている。

市長

お話ができていないということで、教育委員会に対して情報共有の必要性を訴えていく。幼稚園や保育園の統合は人口減少の影響を受けており、適正化が必要である。統合の時期や運営方式については地域と共に考えていく。

司会

相互に誤解が生じている点がある。指定管理などについて、地域の要望をしっかりと確認して進めたい。

市長

これから再度話す機会を持ち、地域の意見をしっかりと聞き入れた上で進捗させていく計画でいる。

教育委員会事務局

適正配置計画には様々な選択肢があることを理解してもらいたいと思っている。問題を検証しながら最善策を見つけていきたい。

司会

市の考えがうまく伝わっていないと感じる。必要な情報をしっかりと整理し、今後の対応を改善していくべきだ。

市長

話す場を設け、子どもたちのために最適な方法を追求していくことが肝要である。

会長

オーバーツーリズムや適正化計画に関する様々な意見を受け止めたい。狭い道路や駐車場の問題を今後とも議論し、協力しながら進めていくつもりでいる。

市長

皆様の意見が貴重であり、観光地の対応や教育環境に関しても真摯に考えていく。中津川市全体で取り組むべき課題が多いため、引き続きご意見を賜りたい。

副会長

今日の集会は大変意義のあるものであった。今後も付知に目を向け、問題解決に向けた努力を継続してほしい。ありがとうございました。